

平成27年度 都立学校・学校経営シート

校章		都立山崎高等学校				基 本 情 報	進路	実績	短期大学	46.0%	短大進学	8.2%	専門学校	30.1%	就職	7.3%	その他	7.8%						
		学習・行事・部活 すべての体験から進路実現へ 生徒会・部活等による地域でコラボレーション						3年間の系統的キャリア教育の推進、人生の目標としての進路実現を目指す。																
								アーチェリー部、ダンス部、サッカー部、バスケットボール部、硬式テニス部、硬式野球部、ソフトボール部、体操部、水泳部、ハンドボール部、吹奏楽部等																
								学校生活は楽しく充実している 86%、文化祭・体育祭は有意義(保護者) 90%																
基 本 情 報	所在地	〒195-0074 町田市山崎町1453番地1				電話 番号	042-792-2891				入 学 者 選 抜 情 報	募集人員	★推薦:男子24名・女子22名★前期:男子88名・女子80名★後期:23名(男女枠なし)											
		ア ク セ ス	(1) 小田急線町田駅バスセンターから山崎団地行乗車、北2号下車3分 (2) 小田急線町田駅バスセンターから下山崎行乗車、山崎高校入口下車3分 (3) JR町田駅バスターミナルから山崎団地行乗車、北2号下車3分						25 年度 入 学 生	推 薦			男子	2.13	26 年度 入 学 生	推 薦	男子	2.04	27 年度 入 学 生	推 薦	男子	1.83		
			女子	2.00	女子	2.41	女子	2.27																
			男子	1.24	男子	1.21	男子	1.20																
本 学 科	普通科	在 生 徒 数	普通科 700名(男子356名・女子344名)				分割 前期	女子	1.33	分割 前期	女子	1.15	分割 前期	女子	1.00									
			教育課程 の 特 徴	習熟度別授業(1年コミュニケーションⅠ、2年コミュニケーションⅡ、1年数学Ⅰ)、少人数編成授業(家庭基礎、体育)、3学期制							分割 後期	男女		1.6	分割 後期	男女	1.08	分割 後期	男女	1.56				
報	ホームページ	http://www.yamasaki-h.metro.tokyo.jp				自律経営推進予算 27年度(単位:万円)		2,103		そ の 他 の 特 徴	推薦(調査書点500点[評定]、作文点200点、面接点300点)前期(学力調査700点[5教科]、調査書300点[評定]、後期(学力検査600点[3教科]、調査書400点[評定]、面接300点)													
		そ の 他	「人間と社会」研究指定校、オリンピック 教育推進校、規範意識向上推進モデル 校		校 服	制服	男子:紺・グレー 女子:紺・チェック		主な学校行事 体育祭、文化祭、マラソン大会															
目指す学校		①基礎・基本を重視した授業を行い、応用力・実践力が身につくように指導を深め、生涯にわたり学習する意欲と態度を育てる。このための授業改善を推進する。②行事や部活動を含む全ての教育活動をととして、何事にも忍耐強く努力し、規範意識と公共心に富み、社会に貢献できる行動力のある生徒を育成する。③豊かで平和な文化を創造する担い手として、学習活動、行事、部活動等をととして、社会の変化を適正に判断し、主体的に行動する人間を育成する。④地域との交流を深めると共に、学校行事を積極的に公開し、地域に根ざす開かれた学校にする。																						
今年度の重点目標		今年度の取組と自己評価																						
目 標 ①	組織的な学力分析と授業改善による学力の向上 「学力スタンダード」を作成し、各教科で統一した教科指導、評価を行えるよう達成状況の改善に努める。生徒による授業評価、相互授業観察、学力検査等の課題を分析し、指導方法の工夫・改善に取り組む共に、言語活動を向上させる授業の在り方について研究を深め、学力の向上を図ってゆく。						「学力スタンダード」により、各教科で統一した教科指導、評価を行い基礎学力がついた生徒が70%。生徒による授業評価、相互授業観察、学力検査等の課題を分析し、ICT機器を活用した授業が80%以上。言語活動を向上させる授業の在り方について授業実践を校内研修し、アクティブ・ライニング型の授業方法を中心に90%以上が実施。																	
	組織的な3年間の系統的進路指導とインターンシップの全員体験 計画的な系統的キャリア教育、新教科でのインターンシップ体験の充実を図り、人に役立つ喜びを体得させ、自己肯定感を高めさせる。また、分野別ガイダンス・面接・プレゼンテーション指導等を組織的に実施し、生徒の進路意識、言語活動能力を高め、将来を見通した進路を選択する能力・態度を育成する。						「人間と社会」におけるインターンシップをはじめとする道徳と融合した体験活動を通して、「人間関係を考える手がかりとなった」生徒が85%となり自己肯定感が高まった。進路ガイダンスを進路部と学年で組織的に実施し、将来を見通させ進路を選択する能力・態度を育成し進路希望達成率を92%以上に向上させた。																	
目 標 ②	国際社会における規範意識と地域貢献・思いやりの心の育成 生徒指導の統一基準の見直しを図り、国際社会でも通用する規範意識の形成を図る。防災教育の推進、ボランティア体験、小・中・高合同のあいさつ運動等の取組、キャリア教育と連動した道徳教育の充実を図り、地域社会と協力して社会に貢献する人材や思いやりの心の育成を図る。						生徒指導の統一基準の見直しを図り、ルールの徹底を図った。オリンピックの参加国と地域一人一国調べ、オリンピックの講演会、伝統文化の音楽鑑賞会、留学生は先生の授業を通した異文化理解、文化祭における茶道、華道の講師による体験活動等により国際社会の理解を推進し、おもてなしの心の育成を図った。																	
数 値 目 標	今年度の数値目標の内容						24年度		25年度		26年度		今年度		28年度	29年度	30年度							
							目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	目標	目標							
	目標①	授業満足度					[授業満足度]					60%	59%	60%	61%	70%	66%	70%	70%	80%	85%	86%		
	目標②	26年度から進路希望達成率					[25年度まで部活動加入率(全校加入率、1年生は100%)]					75%	65%	75%	88%	90%	90%	92%	92%	94%	95%	96%		
目標③	26年度から地域貢献、思いやりの心の育成					[25年度まで体育祭で得た達成感、努力・忍耐、信頼関係、自信の複数回答合計]					190%	189%	190%	189%	65%	60%	70%	77%	75%	80%	85%			

新教科の先行実施

1 道徳教育プログラムの構築

2 キャリア教育プログラムの構築

道徳 自己をみつめ社会に貢献する生き方の探求

- 1 自己理解と生き方追及
- 2 人間関係の構築
- 3 他者理解と感謝
- 4 生命尊重
- 5 勤労の尊さの理解

キャリア教育 進路の探求

- 1 インターンシップ
- 2 大学紹介
- 3 キャンパスツアー
- 4 進路紹介パネルディスカッション

進路実現への取り組み

- 1 二者面談の実施
- 2 三者面談の実施
- 3 全教員による模擬面接
- 4 全教員による個別相談
- 5 全教員によるAO、推薦入試対策

在り方
生き方

進路
実現

学力
向上

学力向上

- 1 学カスタンダード委員会による授業改善プランの構築
- 2 数学Ⅰ、英語Ⅰ等での少人数授業
- 3 基礎学力向上の為の補習拡大
- 4 大学受験支援の講習会の拡大
- 5 家庭学習の習慣化の確立
- 6 漢字検定、英語検定の受験推進



部活動の充実 運動部19部 文化部7部

部活
動

行事

生きる力を育む行事

アーチェリー部 国体出場



ダンス部 舞踊研究発表大会優秀賞



部活動1年全員加入

ルールやマナーの取得
コミュニケーション能力の向上

生きる力の
向上

体育祭

- ・学年を超え団結することで向上するコミュニケーション能力
- ・学年種目を通して得る忍耐力と自尊感情

